

平成 27 年 11 月 13 日

深谷市長 小島 進 様

深谷市新庁舎基本計画検討有識者会議

委員長 堤 洋樹

### 提 言 書

本会議では、平成 26 年 9 月に策定された「新庁舎整備の基本的な考え方」を受け、現本庁舎の耐震性の不足や老朽化の問題、また、新庁舎における市民交流・協働スペースのあり方や深谷らしい庁舎像、まちづくりとの関連性などについて、これまで 5 回にわたり意見を交わし検討を重ねてきた。

新庁舎建設においては、提言事項（本会議の意見）を参考に、より多くの市民から理解が得られる新庁舎の実現に向けて、最大限努力されることを期待する。

## 提言事項

---

### 1 新庁舎の規模について

- (1) 公共施設適正配置の観点から、公民館等の周辺施設とのサービス（機能）の補完や連携が可能か十分に検討し、床面積の削減に努めること。
- (2) 倉庫や会議スペース等は、効率的な運用方法も含めて検討し、無駄のないスリムな庁舎を目指すこと。
- (3) 長期的な展望を持って計画し、将来の人口減少やICT（情報通信技術）化による将来的な環境変化にも柔軟に対応できるような規模や仕様とすること。

### 2 窓口サービス・市民利用スペースについて

- (1) 窓口サービスの形式については、ワンフロアサービスなど、可能な限り来庁者が移動しなくて済み、手続き時間や待ち時間の短縮が可能となる形式とすること。
- (2) 窓口や各種手続きについて、親切丁寧に対応する案内人（コンシェルジュ）を配置し、来庁者に安心感を与え、更なるサービスの向上を図ること。
- (3) 交流・協働スペースについては、休日や夜間利用を想定したセキュリティ計画を検討すること。

- (4) 市民活動やイベント、展示など多目的に利用できるスペースの設置や、市政情報コーナーは入りやすく、情報を一元化するなど、市民が積極的に利用できるような環境とすること。

なお、カフェ機能などとセットで整備するなど、単一の目的でなく、複数組み合わせで整備すること。

### 3 環境への配慮について

- (1) 市の地球温暖化対策実行計画に掲げる削減目標を考慮し、自然エネルギーの利用や省エネルギー設備の導入を図ること。

### 4 安全・安心について

- (1) 市民の生命と財産を守り、災害時には防災中枢拠点として、災害対策本部機能を担う必要があることから、高い耐震性と安全性を確保すること。

なお、構造形式（免震構造・制震構造・耐震構造）については、確保すべき耐震性、安全性を考慮しながら設計の段階で検討すること。

- (2) 災害時のBCP（事業継続計画）の考え方や対応については、庁舎単体だけでなく、他の施設との連携についても十分検討すること。

## 5 深谷らしい庁舎について

- (1) 深谷市の特徴である「花と木のまち」を象徴するようなガーデニングスペースや広場を検討すること。
- (2) 深谷市は農業が盛んであるため、特産品など、ブランディングも兼ねて深谷市とはどのようなまちなのかを情報発信できるスペースの設置を検討すること。
- (3) 渋沢栄一やレンガのまち、深谷駅との連携などを意識した庁舎を検討すること。

## 6 まちづくりとの関係について

- (1) (仮称)にぎわい通りなど、国道の南側からスムーズに新庁舎へアクセスできる方法(動線)を検討すること。
- (2) 新庁舎の外部広場に市民交流スペースを設置するなど、普段から使われる外部空間とすること。
- (3) 花壇や緑地帯などの植栽管理等については、NPO(特定非営利活動法人)やボランティアの方々との協働による管理を検討すること。

(4) 庁舎と街なかとの回遊性やにぎわいの創出に寄与するために、新庁舎に整備する付加機能（市民利用スペース）は、必要最低限に抑え、街なかとの機能面におけるバランスを考慮すること。

(5) 単純に駐車場を整備するのではなく、イベント等にも有効活用が可能となる工夫を施すこと。

## 7 事業手法について

(1) 市内経済の活性化や市内業者育成といった地方創生の観点から、参加要件等で排除することがないように、市内業者の参画機会の確保に出来る限り配慮すること。  
且つ、品質の確保についても配慮すること。

(2) 賃料収入を目的とした庁舎建物内へのテナントの導入（募集）については、面積増加に伴う建設費増との費用対効果について十分検討したうえで判断すること。

(3) 庁舎建設後の維持管理経費（ランニングコスト）の削減を図るため、PPPの視点から施設管理や運用方法を十分検討すること。

深谷市新庁舎基本計画検討有識者会議 委員名簿

氏名	所属等	備考
木藤 久丹江	木藤税理士事務所 税理士	
高野 一吉	深谷商工会議所 会頭	副委員長
堤 洋樹	前橋工科大学 准教授	委員長
葉山 香織	アーバンスタイル研究所 ハマ建築設計事務所 視覚空間アーティスト 一級建築士	
松村 俊英	建築保全センター 客員研究員	

※五十音順・敬称略

深谷市新庁舎基本計画検討有識者会議 協議経過

開催回数	開催日	会場	議事
第1回	平成27年 6月23日(火) 10:00～12:00	市役所 委員会室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの協議経過について</li> <li>・現本庁舎の問題点と新庁舎に求められる機能について</li> <li>・新庁舎整備における基本理念及び具体化に当たっての課題について</li> </ul>
第2回	平成27年 7月16日(木) 9:30～11:30	市役所 委員会室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎に求められる役割と機能について</li> <li>・新庁舎必要規模の算定方針について</li> </ul>
第3回	平成27年 8月18日(火) 13:30～15:00	市役所 委員会室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりに寄与する新庁舎整備について</li> <li>・新庁舎建設に係る計画地の有効利用について</li> <li>・市民サービス窓口について</li> </ul>
第4回	平成27年 9月30日(水) 13:30～15:00	市役所 委員会室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内業者の参画方法について</li> <li>・PPPの視点からの検討について</li> <li>・前回までの意見等の整理について</li> </ul>
第5回	平成27年 11月5日(木) 9:00～10:10	市役所 委員会室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提言書(案)について</li> </ul>